

(様式第9号)

情報公開用文書

急性期病院での脳卒中患者への摂食嚥下機能訓練への取り組み

一患者のQOL向上を目指して一 へのご協力をお願い

1, 研究（調査）の目的と概略

脳卒中で嚥下障害を有している患者様に対して、看護師が摂食嚥下機能訓練を実践することにより FOIS やバーセルインデックス（日常生活動作評価表）を用いて有効性を明らかにします。

2, 研究（調査）の方法

7 階北病棟へ入院された脳血管疾患で嚥下障害を有し、意識レベルが比較的保たれている患者様に対して摂食嚥下機能訓練を 1 日 15 分間行います。

摂食嚥下機能訓練を受けた患者様に対して、性別、年齢、疾患名、発症日、訓練日数、入院日数、意識レベル、バーセルインデックス、FOIS、欠食期間、37.5℃以上の発熱、睡眠剤の服用、平均食事摂取量、RSST（反復唾液嚥下テスト）、MWST（改訂水飲みテスト）を診療録より収集します。

3, 研究（調査）の参加施設

徳島県立中央病院 7 階北病棟

4, 調査期間

調査期間 倫理審査委員会の承認後から 4 年 11 月 28 日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、7 階北病棟へ入院され脳血管疾患で嚥下障害を有し摂食嚥下機能訓練を受けた患者様です。

6, この研究への協力は任意です

統計学的検定を行うためのデータベース作成の際は、ID や患者氏名は使用せずにコード化することで個人が特定できないように配慮します。得られたデータや個人情報については本研究以外には使用せず、研究終了後には速やかに裁断し破棄します。

データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

研究責任者 7階北病棟師長 小坂肇代

当院研究責任者 7階北病棟 鶴岡利美

お問い合わせ先 088-631-7151 7階北病棟